



令和4年10月18日

担当課	文化振興課 博物館
担当者	山下・前田
電話	073-423-0003

## 秋季特別展

### 「表千家とわかやま—紀州藩における交流—」

紀州徳川家の保護を受け発展してきた表千家の茶道。  
本展覧会では、表千家と和歌山との関係を、  
紀州藩主や藩士との交流から紹介します。



偕楽園焼 加賀光悦写茶碗（和歌山市立博物館蔵）

- 展覧会名称 秋季特別展「表千家と和歌山—紀州藩における交流—」
- 会 期 令和4年11月5日（土）～12月4日（日）  
（休館日：月曜日、11月24日（木））
- 開館時間 9時～17時（ただし入館は16時30分まで）
- 入館料 一般大学生：500円 高校生以下：無料  
※和歌山市が発行する老人優待利用券をお持ちの方は、本人のみ無料  
※団体（20人以上）は2割引  
※11月19日・20日は「関西文化の日」にちなみ入館無料。  
※11月22日は「和歌山県ふるさと誕生日」にちなみ入館無料。
- 会 場 和歌山市立博物館 2階特別展示室  
〒640-8222 和歌山市湊本町3-2（電話 073-423-0003）
- 展示解説 11月23日（水・祝） 14時から1時間程度
- 講演会
  - ① 11月13日（日）「紀州徳川家・尾州徳川家の御茶道職の変遷と特色」  
講師：水野荘平氏（愛知学院大学非常勤講師）
  - ② 11月26日（土）「江岑宗左、和歌山へ」  
講師：山下奈津子（当館学芸員）
- 時 間：各回14時～15時30分
- 定 員：各回80名（事前申込制）
- 場 所：和歌山市立博物館 2階 講義室
- 申込方法：往復はがき・メール  
住所・名前・電話番号、「〇月〇日講演会希望」と明記のうえお申し付けください。  
（はがき）〒640-8222 和歌山市湊本町3-2  
和歌山市立博物館 特別展講演会係  
（メール）hakubutsukan@city.wakayama.lg.jp  
件名に「特別展講演会参加希望」  
※1通の応募につき2名まで。
- 申込受付：10月18日（火）から開始。（それ以前の申込は無効）

## 主な展示資料

### 表千家お家元の茶道具を展示



くわばらちやわん  
**桑原茶碗** (表千家不審菴蔵)

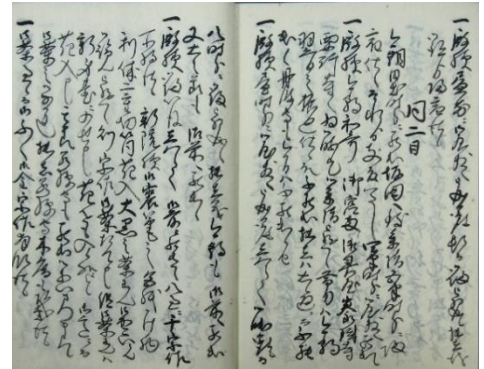
表千家6代・寛々斎かくかくさい (1678～1730) が、享保8年 (1723) に時の将軍・徳川吉宗から拝領した唐津焼の茶碗。唐津藩主から将軍家に献上された茶碗で、桑原権左衛門によって遣わされたことから「桑原」の銘がついた。

この茶碗のほか、表千家の家元伝来の茶道具や古文書を展示します。

### 江岑宗左の紀州藩での活躍を示す資料を展示

#### 留帳 (寛文8年／和歌山大学紀州経済史文化史研究所蔵)

紀州藩で家老を勤めた三浦為時みうらためとき (1609～76) の日記。寛文8年 (1668) 3月2日の項目には、紀州徳川家初代・頼宣よりのお (1602～71) に表千家4代・江岑宗左こうしんそうさ (1613～72) が茶を献じたことが記されている。



江岑宗左が寛永19年 (1642) に紀州徳川家に出仕して以降、江戸時代を通じて表千家は紀州徳川家に茶道を指導する役割を担います。紀州藩の家老の日記から、これまであまり知られてこなかった晩年の江岑の紀州藩での活躍を紹介します。

### 新収蔵資料を展示



とくがわはるとみ ぼたん  
**徳川治宝筆 牡丹図**  
(和歌山市立博物館蔵)

紀州徳川家10代・治宝 (1771～1852) の描いた牡丹の図。落款から、治宝が従三位だったころ (1783～1816) の作品とわかる。牡丹の花々が緻密に描かれている。



ふきあげきくこうごう  
**吹上菊香合**  
(和歌山市立博物館蔵)

全面に金泥きんでいが施され、蓋部には白菊ごふんが胡粉おきあげの置上で描かれた香合えいらくけ。永楽家10代・保全ほぜん (1795～1854) の作。底面の「永楽」、蓋裏の「河濱支流かひんしりゅう」の印は徳川治宝から拝領したもの。

近年、和歌山市立博物館に収められた資料のうち、徳川治宝や茶道に関連するものを公開します。



徳川治宝筆 富嶽秋景図(和歌山市立博物館蔵)

# 特別展 表千家 と わかやま

## 紀州藩における 交流



葵紋金襴手茶碗(表千家不審菴蔵)

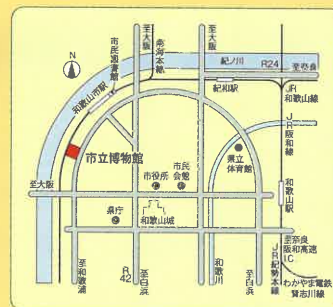
### 和歌山市立博物館

〒640-8222

和歌山市湊本町3-2

TEL 073-423-0003

[www.wakayama-city-museum.jp](http://www.wakayama-city-museum.jp)



令和4年

11月5日(土)  
~12月4日(日)

### 講演会

時間 / 午後2時~午後3時30分

会場 / 和歌山市立博物館 2階 講義室

※参加には事前の申し込みが必要です

11月13日(日)

「紀州徳川家・尾州徳川家の御茶道職の変遷と特色」  
愛知学院大学非常勤講師 水野荘平氏

11月26日(土)

「江岑宗左、和歌山へ」当館学芸員 山下奈津子

### 展示解説

11月23日(水) 午後2時から

開館時間 / 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 月曜日、11月24日(木)

入館料 / 一般 500円(400円) 高校生以下 無料

※和歌山市が発行する老人優待利用券をお持ちの方は、本人のみ無料

※身体障害者手帳、療養手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及びその介護人は無料

※( )内は20人以上の団体料金 ※11月19日・20日は関西文化の日、11月22日は和歌山県ふるさと誕生日にちなみ、入館無料

※新型コロナウイルスの感染状況で、事業等の内容が変更になる場合があります。

# 特別展「表千家とわかやま — 紀州藩における交流 —」

寛永19年(1642)に表千家4代・江岑宗左が紀州徳川家に出仕し、以後江戸時代を通じて、表千家は紀州徳川家に仕え続けました。また紀州徳川家の歴代藩主は、表千家の茶道を保護し、繋がりを深めます。特に10代藩主・徳川治宝は、幼くして家元を継承した表千家10代・吸江斎に真台子点前を返伝授するなど、表千家の茶道を厚く庇護しました。

本展覧会では、江岑宗左の時代、徳川治宝の時代を中心に、表千家と和歌山との関係を、紀州藩主や藩士との交流などを通じて紹介します。

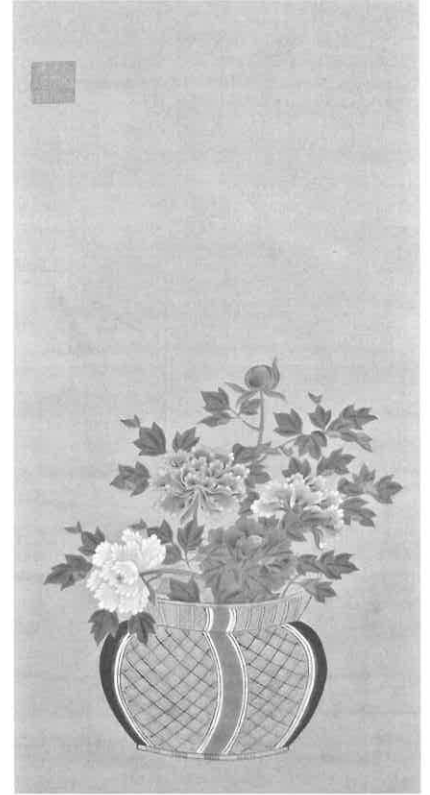
- 展示構成：Ⅰ 江岑宗左の出仕と家老・三浦家との交流  
Ⅱ 表千家歴代と紀州徳川家  
Ⅲ 徳川治宝と表千家



偕楽園焼 交趾写二彩紫葉水指  
(和歌山市立博物館蔵)



桑原茶碗(表千家不審菴蔵)



徳川治宝筆 牡丹図  
(和歌山市立博物館蔵)

## 関連イベント

講演会 事前申込制(先着順) 午後2時～午後3時30分

- 11月13日① 「紀州徳川家・尾州徳川家の御茶道職の変遷と特色」  
愛知学院大学非常勤講師 水野荘平氏
- 11月26日② 「江岑宗左、和歌山へ」当館学芸員 山下奈津子  
定員：各回80人 会場：和歌山市立博物館2階講義室

展示解説

- 11月23日③④  
午後2時から1時間程度

お申込方法

往復ハガキまたはメールにて、ご住所、お名前、電話番号、「〇月〇日講演会希望」と明記のうえお申込みください。

宛先：ハガキ 〒640-8222 和歌山市湊本町3-2 和歌山市立博物館 特別展講演会係

メール [hakubutsukan@city.wakayama.lg.jp](mailto:hakubutsukan@city.wakayama.lg.jp) ※件名に「特別展講演会参加希望」とご記入ください

※一通の応募につき2人までのお申込みになります。その際は、2人分のお名前等を記入してご応募ください。

11月19日⑤、20日⑥は「関西文化の日」にちなみ、  
11月22日⑦は「和歌山県ふるさと誕生日」にちなみ、  
入館無料です。

### 和歌山市立博物館

〒640-8222 和歌山市湊本町3-2 TEL073-423-0003

### 他館展覧会情報

和歌山県立博物館 TEL 073-436-8670

10月15日⑧～11月23日⑨⑩

特別展「濱口梧陵と廣八幡宮—広川町の文化財とともに—」

和歌山県立近代美術館 TEL 073-436-8690

11月12日⑪～12月25日⑫「ニッポンの油絵」※コレクション展など同時開催

和歌山城天守閣 TEL 073-422-8979

わかやま歴史館 TEL 073-435-1044(平日のみ)

11月1日⑬～12月12日⑭ 秋の合同企画展示

「和歌山名所探訪—城下の寺社に残る紀州徳川家の祈り—」